

図書館の現在、図書館の未来

－ 宇部市立図書館リニューアルに向けて

宇部市立図書館リニューアル第1回市民委員会

2020年9月12日（土）

於・Zoom

アカデミック・リソース・ガイド株式会社（arg）
岡本真（代表取締役／プロデューサー）

学問を生かす社会へ

自己紹介

－岡本真

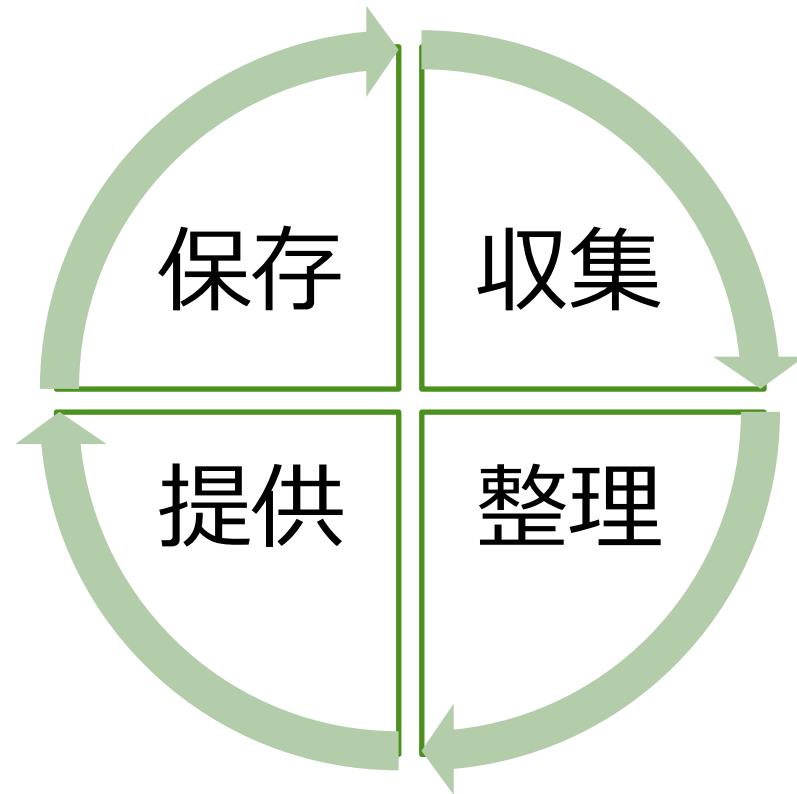
- ▶ 1973年生まれ（47歳）
- ▶ 1997年、国際基督教大学（ICU）卒業
- ▶ 1999年～2009年、ヤフー株式会社にてウェブサービスの企画・設計・運用に従事（代表作：Yahoo!知恵袋）
- ▶ 2009年、アカデミック・リソース・ガイド株式会社（arg）（横浜市）を設立
 - ▶ ほかに京都芸術大学非常勤講師、桃山学院大学司書講習非常勤講師、総務省地域情報化アドバイザー等を兼任

大前提としての 「図書館」観

－交流と知識を創造する図書館へ

学問を生かす社会へ

交流と知識を創造する図書館へ －基本的な役割論の拡張



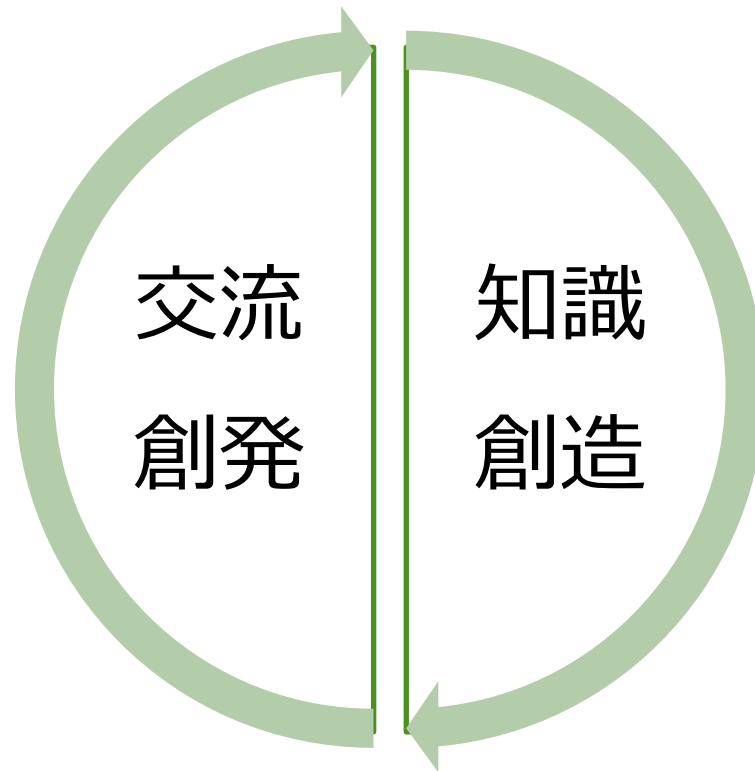
学問を生かす社会へ

交流と知識を創造する図書館へ －基本的な役割論の拡張



学問を生かす社会へ

交流と知識を創造する図書館へ －基本的な役割論の拡張



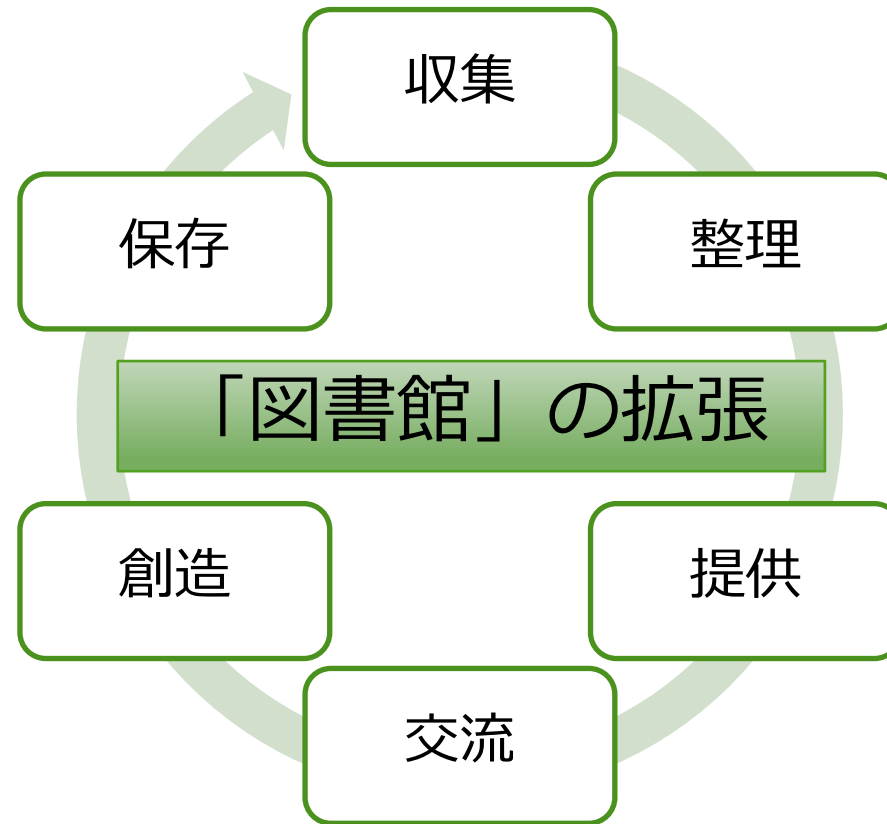
学問を生かす社会へ

交流と知識を創造する図書館へ －基本的な役割論の拡張



学問を生かす社会へ

交流と知識を創造する図書館へ — 基本的な役割論の拡張



未来の図書館、
はじめませんか？

岡本 真／森 旭彦

図書館にいま必要な「拡張」とはなにか——

それは、図書館員が活動して、日々の中での実践を通して図書館の魅力を伝える方法を多様な人材の中から探す。同時に、現行型図書館をつぶした後のアイデアを提案することで、図書館が新しい社会の可能性を呼び上げることができる。見聞を広げて人々を育てる「未来の図書館」へ、2040年に向けて取り組む課題的な議論の場。

さあ、未来の図書館をはじめよう！

青学社

学問を生かす社会へ

交流と知識を創造する図書館へ －大前提としての頂き・裾野論



頂き：交流・創造
情報・知識のプロデュース

裾野：収集・整理・提供・保存
情報・知識へのアクセス

多様な 「図書館」像

－多様性の一例としての山口県の図書館群

学問を生かす社会へ

多様性の一例としての山口県の図書館群 －山口県立山口図書館



学問を生かす社会へ

多様性の一例としての山口県の図書館群 － 田布施町立田布施図書館



学问を生かす社会へ

多様性の一例としての山口県の図書館群 － 下松市立図書館



学問を生かす社会へ

多様性の一例としての山口県の図書館群 －山陽小野田市立中央図書館



学问を生かす社会へ

多様性の一例としての山口県の図書館群 －周南市立徳山駅前図書館



学问を生かす社会へ

多様性の一例としての山口県の図書館群 － 山口市立中央図書館／YCAM



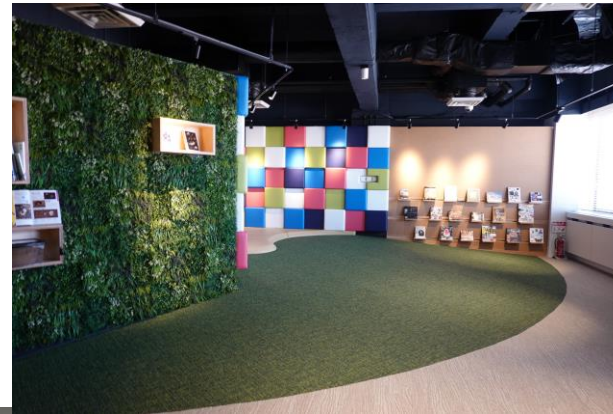
学問を生かす社会へ

図書館の「拡張」

－県立長野図書館の事例から

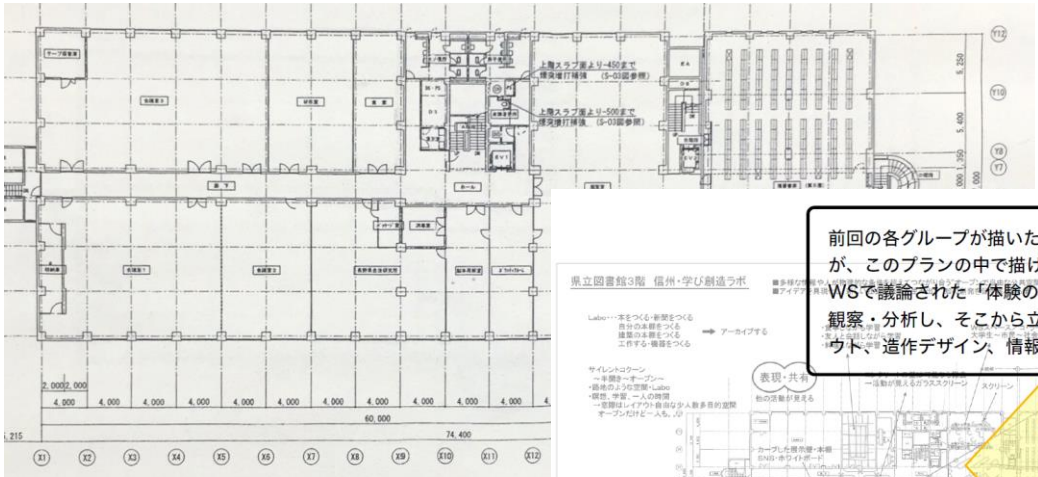
学問を生かす社会へ

図書館の「拡張」に向けてできること — 県立長野図書館 信州・学び創造ラボ



未来の図書館を見据えたアップデート（更新）とそのプログラムづくり

図書館の「拡張」に向けてできること - 県立長野図書館 信州・学び創造ラボ



前回の各グループが描いた「体験のフロー」のラフが、このプランの中で描けなければならぬ！
WSで議論された「体験のフロー」をもう一度よく観察・分析し、そこから立ち上がるプラン、レイアウト、造作デザイン、情報デザインを考えましょう

県立図書館3階 信州・学び創造ラボ

Labo...本をつくる・繋ぎとめる
読者の本棚をつくる
読者の本棚をつくる
工作する・発信をつくる

サイレントコモン
本棚をつくる・繋ぎとめる
読者の本棚をつくる
読者の本棚をつくる
ワークスペース
オープンレジスター

表現・共有
読者の本棚をつくる
読者の本棚をつくる
読者の本棚をつくる
読者の本棚をつくる

共有・共有
読者の本棚をつくる
読者の本棚をつくる
読者の本棚をつくる
読者の本棚をつくる

人材・編集・出力
読者の本棚をつくる
読者の本棚をつくる
読者の本棚をつくる
読者の本棚をつくる

3階平面図

現時点では1つのイメージに絞るのではなく多様なパターンのイメージを集めましょう。(例：平賀さんがワークショップ前に集めていた参考画像のように)

実験のフロー」のラフ

A) 大学生：
何かつくりたい→身体を動かさず→知的活動→成果
+違う行動パターンを持つものとのつながり

B) おじいさんと孫：
調べ物→出会い・交流→持ち帰り
+同じ行動パターンを持つものとのつながり

C) 大学生：
ひまつぶし→コミュニティへの参加→記録・発信
★目的を持たないもののタッチポイントとは？

D) ナシモトさん72歳：
役に立ちたい→口コミ→サイン→ものづくり・交流→発信・発信
+違う行動パターンを持つものとのつながり
★つながりたい思いが片思いの場合のきっかけづくりの可能性

E) 大庭さん：
心地よく1日を過ごしたい→歩く→サイン→…… (以下略)
★複数のタッチポイントとの出会いによる体験の多様性



図書館×設計事務所×arg×県民のコラボレーション

学问を生かす社会へ

図書館の「拡張」に向けてできること — 「宇部らしさ」に根差すということ



宇部共同義会
地域経済
自治意識
宇部方式

学问を生かす社会へ

arg

岡本真・アカデミック・リソース・ガイド株式会社（arg）

info@arg-corp.jp

<https://arg-corp.jp/>